

果樹病虫害発生予察調査結果（5／26調査分）
（三条、加茂、田上地域）

5月26日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共通）

- クワシロカイガラムシ **第1世代のふ化盛期**は、有効積算温度（5月25日現在）による予測では、**5月27日頃**ですが、**ふ化が始まっている園地もみられます**。各園地のふ化状況を確認し、適期防除に努めましょう。
- ナシマルカイガラムシ **第1世代のふ化盛期**は、有効積算温度による予測では、**6月11日頃**です。
- カイガラムシ類は、受粉樹にも寄生が多く見られるため、丁寧に薬剤を散布しましょう。

（ナシ）

調査地点ごとに5新梢、100果を調査しました。

- 一部で、**花腐細菌病**の発生が新梢等に確認されています。り病枝は切除し、園外で処分しましょう。
- **黒星病**の発生は一部に留まりましたが、今後の多発に注意し、り病葉・り病果を発見したら摘み取り、園外で処分しましょう。
- 一部で、**セイヨウナシ褐色斑点病**の発生が確認されています。今後1か月間は特に注意が必要ですので、散布間隔を空けない薬剤防除や摘葉等を行うとともに、果実感染を防止するために**6月10日頃までに袋かけ**を行いましょう。
- **アブラムシ類**の寄生が一部で確認されています。薬剤がかかりにくい部分で発生しやすいことから、散布ムラや死角に注意した丁寧な散布を心掛け、SS走行路や新梢管理に留意しましょう。

(モ モ)

調査地点ごとに5新梢、100葉そう、100果を調査しました。

- **せん孔細菌病**は新梢葉の一部への発病が確認されました。5月24日に発生した強風と降雨により発生の拡大が懸念されています。病した枝や葉は切除し、園外で処分するとともに、**袋かけや枝誘引も早期に行いましょう。**
- **ナシヒメシンクイ**による新梢先端部の芯折れは確認されませんでした。被害部位を確認したら切除し、園外で処分しましょう。
- 一部で、**カメムシ**による果実の吸汁害が確認されています。園地の状況を確認し、今後の発生に注意しましょう。

(ブドウ)

調査地点ごとに100葉、100果房、被害つる数を調査しました。

- **灰色かび病**発病葉・発病果は確認されませんでした。今後発病を確認したらり病部位は切除し、園外で処分しましょう。また、過湿状態で発生しやすいため、棚下の通風も確認しましょう。
- 今回調査では確認されませんでした。今後ハダニ類・カイガラムシ類・アザミウマ類等の発生に注意し、新梢管理や適期防除に留意しましょう。

次回調査は6月10日(火)を予定しています。

担当 : 中越支所 果樹共済係
TEL : 0258-36-8105
FAX : 0258-34-8020